

1 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	天野 広	参加 メンバー	CL:天野 広
		報告日	01/09		
山 域	鈴鹿山脈	山行日	2015 年 01 月 05 日 (月)		
山 名	野登山				

山行目的	新春の雪山を楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会:12	
山行: 1	
リーダー	
原紙: 集会担当者	





2.5 万分の 1 地図: 御在所山・伊船

01/05 曇りのち快晴
07:30 自宅発
08:30 小岐須溪谷駐車場
08:50 駐車場発
10:07 マド 一本
11:00 ワカン装着
11:05 国見広場 一本
11:30 野登山頂上
12:05 仙鶏尾根分岐
12:20 ピーク 一本
ワカンを外す
13:05 仙鶏乗越
13:55 小社峠分岐一本
14:15 林道
15:15 駐車場着

〈山行報告〉 ネット情報から道路凍結の可能性を知る事を知り、前日にオートソック (布製滑り止め) を購入したが、使用することなく駐車場に到着した。他の車はなく寂しかった。鉄橋を渡り一の谷ルートを進む。5 cmほど積雪があるがトレースはないため、テープを捜しながら忠実にたどる。沢横の右が切れ落ちている場所では慎重に歩を進める。沢を何度も渡り返し登っていくと、尾根が見えるあたりから急登となり木を掴んだりして滑らないようにして登りマドに到着する。急な尾根は雪が深くなってきたが、ツボ足で登って行く。緩やかになった所で雪が深くなりワカンを装着した。少して国見広場に着き景色を堪能する。「イワ鏡の小道・野登山」の標識を見つけ到着すると山頂は雪が深く (50 cmくらい) あるはずの三角点は発見できなかった。少し進み林道に出るとトレースがあったが人には会えなかった。すれ違ったらしい。電波塔へ上り、野登寺を見つけ 10m ほど下って家族の健康を祈願した。電波塔へ登り返し林道を下ると仙鶏尾根分岐に到着した。暗い樹林をテープを確認しながら 50m 程下り、30m また登り返す。ここからは痩せ尾根が多いとの情報から、一本取りワカンを外し、ストックもしまう。情報通り痩せ尾根が続

いている。「万が一落ちたら助けてくれる人はいないな」と思いながら、固定ロープを最大限使用し慎重に進んだ。仙鶏乗越 (分岐) に到着し、体力と時間を考え、ここから下山する事を決めた。下山路も「ホントかよ」と思う場所を固定ロープをしっかりと掴みながら行くと林道に出た。久しぶりの雪山に内転筋がつってしまい、なまっただと感じた。

〈リーダー所見〉 冬休み中に一回は登っておきたいと思い、雪の少ない山を選んだつもりだった。ネットで調べると思いのほか積もる事が分かり、ワカンを持って行って良かった。計画では仙ヶ岳まで行く予定だったが、仙鶏尾根の厳しさに心が折れ、また時刻を考慮し計画を縮小した。なまっただ体力を考えると良い判断だと自画自賛。



野登山 山頂 三角点があるはずだが埋まっているため発見出来ない

確認 (リーダー)	天
15/01/10	野
作成 (報告者)	天
15/11/10	野